

【アジェンダ・プロジェクト学習講演会 講演録】

原発拒否運動の経験を学ぼう！
福井県の原発銀座・若狭で一貫して原発を拒否！

小浜市民は いかにして 原発を拒否して きたのか

昨年11月2日に京都で中嶋哲演さんを講師にお招きして開催した学習講演会の講演録を、当日配布資料の一部も収録して発行しました。

福井県小浜市は、原発密集地となってしまった若狭湾の真ん中でありながら、原発立地を一貫して拒否し続けてきたところです。中嶋さんは「原発設置反対小浜市民の会」の事務局長として、60年代末に始まった小浜での原発反対運動の最初から、40年以上にわたって中心にかかわって来られました。3度の原発誘致、2度の使用済み核燃料中間貯蔵施設誘致のたくらみを、ことごとく退けてきた小浜市民の闘いについて、当時の資料を示しながら具体的にお話いただきました。同時に、「3・11」後の今日、脱原発を実現するにあたって、これまで原発の電気を消費する一方であった都市部に住む住民こそが脱原発の運動を創り出していく必要性を強く訴えておられます。

★ 中嶋哲演（なかじま てつえん）さん プロフィール

真言宗御室派 桐山 明通寺 住職。1942年生まれ、福井県小浜市出身。学生時代に広島
の被爆者に出会い、帰郷後支援活動を続ける。68年、小浜市に原発建設の計画が持ち上
がったことを機に「原発設置反対小浜市民の会」を結成して事務局長を務め、反原発運動で
小浜への原発誘致を拒否。93年「原子力行政を問い直す宗教者の会」結成に参加。2012
年3月25日～31日まで、大飯原発再稼働に反対してハンガーストライキを実行。2014年
5月に福井地裁で画期的な勝訴判決を勝ち取った、大飯原発差し止め訴訟の原告団長。著
書に「原発銀座・若狭から」（光雲社）、「いのちか原発か」（風媒社）、「大飯原発再稼働と
脱原発列島」（共著 批評社）など。

※本冊子は書店では販売しておりません。ご希望の方は、アジェンダ・プロジェクトまで、メール、電話、Fax等でお申込みください。



2015年2月15日発行
A4判 44ページ
頒価 700円

目次

講演会当日のレジュメ

- 多くの反原発運動の中の小浜の闘い
- 第一次小浜原発誘致の動き（一九六八年）
- 小浜市民の闘いの前史
- 「市民の会」の結成（一九七一年）
- 私の原発反対の出発点
- 「市民の会」の運営と初期の活動
- 配布したチラシ・ニュースについて
- 第二次小浜原発誘致の動き（一九七五年）
- 第三次の誘致の動きを拒否（八十年代後半）
- 第一次中間貯蔵施設阻止の闘い
- 第二次中間貯蔵施設阻止の闘い
- 大飯原発3・4号増設反対運動
- 質疑応答
- 資料①～⑩